

\*\*\* ある日の育児日記から \*\*\*

佐藤 和代 \*\*\*



(10)

娘の圭は、二歳と四か月になりました。なぜかこのごろ、ひどい甘えん坊です。いつも歩いている道でも、ずっとダッコを要求するし、保育園でも、毎朝私から離れたがらず泣いている。何だか、四月に戻ってしまったよう。

でも、圭には魔法の言葉があるのです。それは「圭ちゃん、いくつ?」圭はほこらしげに答えます。「二歳!」ぐずぐず言っているときでも、これでコロッと機嫌が直ったりします。

きっと圭は今、自分が大きくなったんだと自覚し始めたのでしょう。二歳よ、大きいのよ、と誇

る一方で、赤ちゃんに戻りたい気もする。そんな風に揺れているのではないかしら。

私にも、圭の気持ちがある

よくわかります。なぜって、私も似た感覚があるからです。こんなに大きくなって、と思う反面、もうあの赤ちゃんのぶくぶくした感触は戻ってこないんだ、と寂しくて…。二歳ってきつと、親にとっても子どもにとつても、揺れる年齢なのでしょうね。



ふ、3しきむすん? アンパンマン!

というわけで（でもないか）何だか少し、体調の悪い私。これはつわりかな、とちよつとドキドキ。近いうち、産婦人科に行つてみようと思つているところです。